

第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会  
滋賀県開催準備委員会  
第 10 回全国障害者スポーツ大会専門委員会 議事概要

1 日時

令和 2 年(2020 年)12 月 25 日(金) 10:00~11:40

2 場所

滋賀県大津合同庁舎 7 階 7-B 会議室

3 出席委員(五十音順、敬称略)

伊勢坊 美喜、大西 孝雄、小倉 繁昌、小野 ゆかり、川並 正幸、川村 誠、  
菊井 吉之蒸、近藤 寛子、高木 正二郎、中島 秀夫、中西 敦子、中西  
久美子、西田 和歌子(酒見委員代理)、永浜 明子、原 陽一

(委員総数 19 名のうち 4 名欠席)

事務局：岡田事務局長 他 4 名

4 会議概要

(1) 審議事項

事務局から「第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会手話・要約筆記ボランティア養成基本方針改正(案)」について説明。

【質疑】

(委員) ボランティアは現状どれくらいいるのか。

(事務局) ボランティア募集は開催 2 年前からの予定で、養成に向けた検討を進めていく段階。

(委員) コロナの影響もあり思うように進んでいないが、県内の手話サークル等に出前講座を行っている。「年齢や障害に関係なく参加できるだろうか」「選手と一緒に頑張って頑張りたい」といった積極的な声を聞いている。次年度以降も継続して取り組み、障スポのイメージを共有していくことでボランティアにつなげていきたい。

(委員) 養成には時間がかかる。早め早めに取り組んでほしい。

## (2) 説明事項

事務局から「第24回全国障害者スポーツ大会会場地変更(案)」について説明。

### 【質疑】

- (委員) 会場の使い方はどうなるのか。
- (事務局) 現時点での案では第1グラウンド・第2グラウンドで一面ずつとり、第2グラウンドに練習場を合わせて確保する予定。
- (委員) 先日のバリアフリー調査で、バレーボールの会場である湖南省総合体育館においてフリーゾーンが規定に満たないのではないかという指摘があったが、その後どうか。
- (事務局) 現在日本障がい者スポーツ協会に確認中。

### 【質疑】

事務局から「第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 文化プログラム実施基本方針改正(案)および実施基本計画(素案)」について説明。

- (委員) 「2-(3)~効果的な情報発信」について、字幕や手話など情報保障をきちんとしてほしい。イベント実施時においても手話の手配をお願いする。
- (事務局) こちらが発信した情報をきちんと受け取っていただくということは大変重要と考えている。広報やイベント実施は開催前年度からに思うので現時点で具体的には申し上げられないが、受け手や媒体にた手法を考えていきたい。
- (委員) 県が行う県政情報番組には手話も字幕もないものもあり、放送局と連携しきちんと発信してほしい。
- (事務局) 県政情報の発信については、担当課に伝える。また当事務局の発信の際は配慮したい。
- (委員) 文化プログラムは開催年だけか。延期に伴い2年間にはならないのか。
- (事務局) 実施基本方針に記載のとおり開催年の1月~12月。
- (委員) 滋賀県には糸賀一雄音楽祭など魅力的な文化事業がたくさんある。東京オリパラの関係で甲賀市において1月に障害者アート展が内閣府推進調査事業として実施される。国スポでも大いにPRしてほしい。

## 報告事項

事務局から「第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会滋賀県開催準備委員会第8回常任委員会の決定事項について」、「第24回全国障害者スポーツ大会の開催延期に係る大会準備スケジュールについて」、「第24回全国障害者スポーツ大会競技運営主管団体の変更について」、「第24回全国障害者スポーツ大会オープン競技主管団体の変更について」、「第24回全国障害者スポーツ大会競技会場バリアフリー調査について」、「第24回全国障害者スポーツ大会特有の準備進捗状況について」報告。

### 【質疑】

- (委員) バリアフリーについて、和式トイレは視覚障害者には使えないので洋式トイレが望ましい。また、和式・洋式の区別や設備の説明、誘導などのために、点字や音声案内といったハードの整備をしてほしい。伴走者が異性の場合もあるため、同性の係員を配置してほしい。
- (委員) 新国立競技場にはカームダウンルームが複数常設されている。ぜひ新設の県立施設にも仮設ではなく常設でお願いしたい。観客の中にはパニックになる人もいると思うので、スタッフには研修するなどして障害への理解が一定必要。市の発達支援センターから応援に来てもらってはどうか。
- (委員) 県立障害者福祉センターは様々な障害当事者の方が利用されるが、すべての要望にハード面で応えることは難しい。そういう時には職員によるソフト面でのカバーやちょっとした工夫で対応してきた。障スポにおいてもそうしたノウハウがお役に立てばと思っている。
- (委員) 施設は現在利用されており、バリアフリーへの対応は大会に仮設で間に合わせればよいというものではないと思う。市町ともバリアフリー調査報告書をきちんと共有して、県も補助しながら改善していくようにしてほしい。定期的な点検が重要。
- (事務局) ご意見を踏まえて今後検討していく。常設による整備の要望や報告書の内容については、所管課や市町に伝える。内容によっては工夫次第で取り組める部分もあったと思う。
- (委員) できることからやっていくという考え方が大切。
- (委員) 調査には市も参加していただいていたので、「こういう視点があるんだ」と知ってもらう良い機会になったと思う。前向きに捉えていただけた部分もあった。少しずつでも使いやすくして行ってほしい。
- (委員) 三者協議について、その結果は専門委員会で共有して、意見が言えるのか。競技運営や選手の輸送について今後話し合っていく場になると思う。

(事務局) 三者協議の結果を報告する予定はなかったが、全競技について報告した方がよいということか。

(委員) 可能であれば、障害者スポーツ協会から三者協議にオブザーバー参加したい。

(委員) 全国障害者スポーツ大会については、来年の開催地は三重なので委員の皆様もぜひ行ってほしい。